

事務事業名 図書館運営事業

出力日：令和04年03月15日

キーコード：700

施策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090609-03-00
基本事業：	05	読書活動の推進	担当部	教育部
基本事業の成果指標	図書館の年間利用者数 図書館の設備・資料の満足度		担当課	文化・スポーツ振興課
			担当係	文化振興・図書館担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市民、在勤、通学者、福岡都市圏住民及びすべての来館者			市民図書館は、平成2年11月に閉館し、市民が身近な生涯学習の場として、図書資料や情報等の提供を行っている。さらに、ブックスタートや講座、講演会等を行うとともに、遠隔地39ヶ所に移動図書館車（つくしんぼ号）を運行し、市民一人ひとりが読書の楽しさや必要性を知っていただくよう努めている。 ・開館時間 午前10時～午後6時（ただし、金曜日、土曜日は午後8時まで） ・休館日 月曜（祝日を除く）、月末最終水曜日、特別整理期間、12月28日から翌年1月4日 ・主催講座等 8回 ・運営方法 運営の一部を民間事業者に委託し運営している。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			読書に親しみ、広く本の世界に触れることで、情操をたくくみ、知識や思考力を育成する（乳幼児から青少年） 社会生活上に必要な情報を得ることと調査研究に資する（全ての世代） 娯楽、教養、レクリエーションに資する（全ての世代）							
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	01年度 実績	02年度 実績	03年度 当初	04年度 要求	05年度 計画	06年度 計画	目標	
貸出総冊数		冊	659,853	644,293	725,000	725,000				
新規の登録者数		人	2,021	2,235	2,500	2,500				
5. コスト										
事業費		計	千円	79,554	96,661	78,551	81,874			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	121	25	34	11			
一般		千円	79,433	96,636	78,517	81,863				
正職員人工数		人工	1	1	1					
正職員人件費		千円	8,065	8,029	7,921					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	87,619	104,690	86,472	81,874				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		<状況>市民図書館における新規登録者数は増加しているが、貸出総冊数は減少している。 <原因>新型コロナウイルス感染拡大防止対策のために、令和2年4月から臨時休館となったことから利用者が減少した。子どもの読書離れ、活字離れが本市においても現れていると考えられるが、全国的な傾向であり、国においても文字・活字文化法や子どもの読書活動の推進に関する法律を制定し、読書力の向上に努めていることから、本市においてもより積極的な事業を検討する必要がある。 <成果指標>令和4年度は、令和3年度と同じ目標とした。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	学校図書室支援、ボランティア育成、地域等、更なる連携を進めるためには現在の支援体制の強化が求められる。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
・老朽化しサポート保守が停止する図書館システムサーバ等の更新が必要。 ・読書バリアフリー法に基づく視覚障がい者向けの電子図書館サービスが、コロナ禍を機に全国の公立図書館で一般利用者向けに導入が進んでおり、コロナ禍にあっても有効と思われることから早急な導入が必要。										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
昭和62年まちづくりプロジェクトが市長に対し提言書「筑紫野市立図書館建設について」を提出。平成2年11月中央公民館図書室を閉鎖し、現在の図書館を開館した。開館時間は火～日、10時から18時（金、土は20時）貸出型の館である。滞り型への要望があるが、構造上変更は難しい。										